

第2号議案—1

品質保証研究会 平成30年度活動計画

1. 活動基本方針

活動成果のなお一層の充実とその活用を図るため、以下の活動を実施する。

- ・全会員対象の講演会、見学会を計画し、会員相互の啓発を図る。
- ・定例研究会活動として、第1、第2の各グループのテーマに基づく、輪読、講義、購読、見学等の活動を推進すると共に、その活動成果を取り纏めて、会員の活用に供するように努める。
- ・会員間の情報交換、コミュニケーションの場の提供を図るため、QASGニュースを発行すると共に、ホームページの有効活用を図る。

この方針に基づき、平成30年度の具体的な推進計画を以下に記載し、全体の活動計画(補足)を表1に示す。

2. 活動計画内容

2.1 総会

第28回通常総会を開催する。

2.2 講演会の開催

総会終了後、定例研究会活動報告(第1グループおよび第2グループ)、特別講演(種田憲一郎氏による『医療分野における安全文化の測定と醸成～チームトレーニングが何故必要か～(仮題)』)および懇談会を行う。

下期(平成31年2月)に1回の講演会を予定する。

2.3 見学会の開催

下期(平成30年10月)に1回の見学会を予定する。

2.4 「QASGニュース」の発行

年度内(平成30年9月、平成31年1月、5月)3回のQASGニュース発行を予定する。

2.5 定例研究会活動

(1) 第1グループ(リーダー:工藤竜太会員)

『研究テーマ:品質システムの研究「原子力QMSのあるべき姿に関する研究 - 原子力セクタ規格の調査・検討』』

今年度までの検討により原子力QMSのあるべき姿が明確になってきたが、来年度は原子力セクタ規格の特徴的な事項について更に検討を進めると共に、具体化を進める。

1) インセンティブに関する検討

高度な信頼性が求められる原子力の業界においては、各組織が積極的にQMSを自主改善する必要があるが、そのためにはQMSの状況を評価してインセンティブを与えて行くことが有効であると考える。今年度検討したQMSの評価手法を元にインセンティブの在り方について検討して行く。

2) 原子力セクタ規格の具体化

これまで調査・検討した内容をもとに原子力セクタ規格の具体化を始める。それには以下を含む

- ・要求事項補強のためのガイドライン策定の検討(内部監査運営・模倣品対策や情報セキュリティ)
- ・品証技術基準追加21項目やISO19443要求事項への対応

3) 新しい課題検討

ここ数年報道されている製造業の不正問題を調査し、原子力産業界としての課題を検討する。

(2) 第2グループ(リーダ: 氏田博士会員)

『研究テーマ: エラーマネジメントに関する調査研究』

H30年度は、MT0文献調査検討の継続およびプラントと自治体の対応における良好事例分析手法の確立とその適用に注力することとした。

1) MT0文献調査と内容分析と国内適用の研究

福島事故の知見として、大規模複雑システムにおいては基本的想定が気づかれない可能性があるので、個々のシステムの脆弱性の特定は困難という理解がある。この解決のためには、Man, Technology, and Organization (MT0) という全体を考慮した取り組み (Systemic Approach) が必要であるという認識が IAEA などを中心に西欧において共有されている。MT0関連の文献を収集・調査を継続的に実施し、その内容を評価し日本における各組織の安全管理手法への適用性を継続して検討する。

2) 福島事故の4サイトプラントと自治体対応の比較分析

H29年度は、福島第一と福島第二、東海第二と女川の4サイトの良好事例と失敗事例を総合的に比較分析し、リスク対策の在り方を検討した。また、国、福島県、宮城県および茨城県の災害と事故時の対応も比較分析した。H30年度は、H29年度に試みた「4サイトプラントの良好事例・失敗事例の分析」と「国、福島県、宮城県および茨城県の災害・事故対応の比較分析」を統合した分析を継続して試みる。

以上

表1 品質保証研究会 平成30年度活動計画[補足]

項目		2018年(平成30年)						2019年(平成31年)						
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全 体 活 動	総会	第28回 6/13 ▽												
講 演 会	計画	特別講演会 ▽												
見 学 会	計画													
QA SG 一 一 ス	実績													
第1 グループ	計画													
第2 グループ	計画													
幹事会	実績													

○・▽ : 計画 ●・▼ : 実績